ICメルマガ（国際委員会メールマガジン）

THE INC 2024カンファレンス参加報告

國學院大學　観光まちづくり学部
小林　裕和

ATHENA (Association of Tourism, Hospitality and Events Networks in Academia)が主催する THE INC 2024 (Tourism, Hospitality and Events INternational Conference) は、2年ごとに開催され今回で4回目、2024年6月5～7日にオランダ・アムステルダム Hotelschool The Hague にて開催されました。ATHENAは、2022年に正式に設立された比較的新しい学術団体です。観光、ホスピタリティ、イベント等において、知識の共有と国際的な連携を促進・支援することによって、研究活動が活発なコミュニティの中核を形成することをビジョンとして掲げています。

THE INCの2024のテーマは「Technology Enabled Competitiveness and Experiences in Tourism, Hospitality and Events」でした。私の研究テーマ（観光地経営DX）に沿っていたため、500-700語の要旨を投稿し二重匿名査読を経て受理され、発表のために参加しました。主なセッションとしては、AIやチャットGPTを利用した観光マーケティング、バーチャルツーリズム、AR/VR技術の教育分野への応用、メタバースの経済学とその社会経済への影響、サービスロボット、SNSを用いたシティーブランドの内容分析などがありました。またメインホールでは基調講演やパネルディスカッション、優秀論文賞表彰などが行われました。

興味深かったパネルディスカッションの一つに、Journal of Travel Researchなどの研究ジャーナルの編集長による最近の観光研究の動向などについての議論がありました。登壇者の一人から、論文において実務への示唆を重視しているという発言が印象に残りました。

THE INC 2024 への参加は、観光・ホスピタリティ・イベント分野の技術利用の進歩について学ぶ有意義な機会となりました。AIやチャットGPTなど最新の技術を用いた観光研究も多く発表され、このような技術的、実践的な知見を教育の現場や地域における実践にすばやく反映しつなげていく必要性を強く感じました。

参加者は欧州を中心に約160名、発表総数は約100本（発表は15分の発表と質疑応答5分）、日本の研究者は他には見当たりませんでしたが、観光庁の観光DX事業を推進する部署、地域で観光DXを推進支援するNTTコミュニケーションズからの参加も見られ、観光DX分野に対する産官学の関心の高さが伺えました。次回は2026年6月、University of Algarve（ポルトガル、ファロ）で開催されることが発表されました。

会場となった Hotelschool The Hague（アムステルダム）

メインホール　基調講演やパネルディスカッションが開催

アムステルダムの運河のある美しいまちなみ

大学構内の様子　多くのネットワーキングが見られた